

第 60 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第60回日本神経学会学術大会
大会長 楠 進

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2019年5月22日（水）～25日（土）
「水の都から臨床神経学の大海原を目指して」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：大阪国際会議場
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL: 06-4803-5555
リーガロイヤルホテル大阪
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-68
TEL: 06-6448-1121 FAX: 06-6448-4414
3. 参加費
※事前参加登録は、締め切りました。当日参加登録も可能です。大阪国際会議場5階までお越しください。

		事前	当日
会 員	正会員	15,000円	18,000円
	研修医会員	3,000円	3,000円
	学生会員（大学院生） *1	—	3,000円
	学生会員（学部学生） *2	—	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000円	3,000円
非 会 員 *5	非会員（医師）	18,000円	21,000円
	非会員（企業）	18,000円	21,000円
	非会員（その他）	18,000円	21,000円
	メディカルスタッフ *3	8,000円	8,000円
	初期研修医 *4	3,000円	3,000円
	大学院生 *4	—	3,000円
	海外参加者	3,000円	3,000円
	学部学生・日本滞在中の 外国人留学生 *2	—	無料
	メディカルスタッフ教育セミナー のみの参加（5月25日（土））	1,000円	1,000円
そ の 他	全員懇親会（5月22日（水））	3,000円	3,000円
	プログラム・抄録集 *6	4,000円	4,000円
	ポケットプログラム（日本語版）	—	1,000円

- *1 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- *2 学部学生・日本滞在中の外国人留学生は事前に登録する必要はございません。学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、学会当日、受付窓口にて「ID」をご提示ください。
- *3 医師以外の医療介護福祉関係者。非会員のメディカルスタッフの方は学会当日、受付窓口にて、「メディカルスタッフ証明書」をご提出ください。

(「メディカルスタッフ証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください(両方ご提出いただく必要はありません)。)

- *4 非会員の大学院生の方は学会当日、受付窓口にて「大学院生証明書」をご提出ください。
(「大学院生証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。)
非会員の初期研修医の方は学会当日、受付窓口にて、「初期研修医証明書」をご提出ください。
会期当日の時点において「大学院生」、「初期研修医」であることが条件となりますのでご注意ください。
- *5 非会員の参加費は税込(8%)です。
- *6 学術大会参加費に含まれておりませんので、ご希望の方はお申し込みください。事前送付いたします。事前参加登録の有無にかかわらず、会員には「ポケットプログラム(日本語版のみ)」を事前送付いたします。

4. 託児所

会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、ホームページをご確認ください。
(<http://www.neurology-jp.org/neuro2019/registration/nursery.html>)

5. お問い合わせ

【大会長校事務局】

近畿大学医学部神経内科学教室
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階
TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

【第60回学術大会運営事務局】

第60回日本神経学会学術大会運営事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 株式会社コンベンションリンケージ内
TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693
E-mail: neuro2019@c-linkage.co.jp

各種企画のお知らせ

☐…英語セッション

1. 大会長講演(5月23日(木)13:15~14:00)
楠 進(近畿大学医学部神経内科教授)
「免疫性ニューロパチーと抗糖脂質抗体;これまでとこれから」
2. Plenary Lecture(5月23日(木)11:00~11:45) ☐
Angela Vincent(Oxford University/University of London, UK)
「The depth and breadth of antibody-mediated neurological diseases」
3. Semi-Plenary Lecture(5月24日(金)12:45~13:30) ☐
Brian G. Weinschenker(Mayo Clinic Rochester, USA)
「The Evolving Spectrum of Acute Transverse Myelitis」
4. 特別講演1(5月23日(木)14:35~15:20)
辻 省次(東京大学病院分子神経学, 国際医療福祉大学ゲノム医学研究所)
「臨床神経学におけるゲノム解析の最前線」
5. 特別講演2(5月24日(金)12:45~13:30)
岡野 栄之(慶應義塾大学生理学教室)
「iPS細胞技術と遺伝子改変霊長類を用いたヒト・精神神経疾患の研究」
6. 特別講演3(5月24日(金)13:45~14:30)
澤田 好史(近畿大学水産研究所大島実験場)
「近大マグロ養殖の歴史と今後の展開」

7. 2018 年度学会賞受賞者招待講演 (5 月 23 日 (木) 14:35~15:20)
 2018 年度学会賞 (学術研究部門)
 清水 文崇 (山口大学医学部脳神経病態学講座神経内科学)
 佐竹 渉 (神戸大学大学院医学研究科神経内科 / 分子脳科学)
 2018 年度学会賞 (診療部門)
 榊原 隆次 (東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座神経内科学)
8. East Asian Neurology Forum 及び関連プログラム
5 月 24 日 (金) 08:00~09:30
 ・ GBS in Asia [E]
 ・ Hot Topics in Neurology: EANF2019 (1) [E]
5 月 24 日 (金) 13:45~15:45
 ・ Hot Topics in Neurology: EANF2019 (2) [E]
9. Neuroscience Frontier Symposium / ホットトピックス / ガイドラインコース / シンポジウム等
5 月 22 日 (水) 09:50~11:50
 ・ レジストリはいかにして神経疾患の創薬に貢献できるのか?
 ・ α -シヌクレインおよびそれを超えて: パーキンソン病の神経変性の真犯人を探せ! [E]
 ・ 脳卒中と常在細菌の密接な関係を探る [E]
 ・ Genetic and neuropathological approach decipher the molecular mechanisms of idiopathic central nervous system demyelinating diseases [E]
 ・ 神経疾患に対する非侵襲脳刺激療法の最先端
5 月 22 日 (水) 13:20~15:20
 ・ Update on Diagnostic Biomarkers for the early diagnosis of Alzheimer's Disease [E]
 ・ すべてがわかる白質病変の画像と病理
 ・ 神経免疫疾患の病態解明への多面的アプローチ
 ・ Newly Emerging Concepts on PSP and CBD [E]
 ・ レム睡眠行動異常症の二面性: パラソムニア vs シヌクレイノパチーの前駆症状 [E]
 ・ More than just taking out the garbage: Expanding landscape of autophagy and lysosome function in neurological diseases [E]
 ・ Extending the clinical spectrum of cerebral amyloid angiopathy (CAA) [E] (13:20~14:50)
5 月 23 日 (木) 08:00~09:30
 ・ ゲノム編集技術が切り拓く神経内科学
 ・ 新たな臨床スペクトラムとしての多系統蛋白質症
 ・ 脳神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐための対策と提言
 ・ 今, リピート病が面白い リピート病の最前線 [E]
 ・ ジストニアを早く見つけて治す!
 ・ 水が心と体を育み, そして癒す
 ・ NeuroCPC
 ・ 難病法の 5 年後見直しと神経難病の総合的支援を考える
 ・ International tele-education on neurology: how to actively join tele-conference
5 月 23 日 (木) 15:35 ~ 17:35
 ・ ANA セッション [E]
 ・ 脳梗塞急性期治療 今後の新しい展開
 ・ α -synucleinopathy における自律神経障害と認知機能障害
 ・ Dementia and cognitive neurology: recent advances [E]
 ・ AI とデータベースによる近未来の神経画像診断 [E]
 ・ いままた MS と NMOSD の境界を考える [E]
 ・ 脊髄炎に関する最近のトピックス
 ・ 慢性免疫介在性ニューロパチー: 病態研究の最前線 [E]
 ・ てんかんと他疾患の併存と鑑別
 ・ 神経変性疾患の発症前に挑む! [E]
 ・ 循環器と筋疾患専門家とのクロストークー基礎医学からベッドサイドまで [E]

5月24日(金) 08:00~09:30

- ・ Parkinson 病診療ガイドラインコース
- ・ 見逃したくない治療可能な小脳性運動失調症
- ・ Duropathy の臨床—その多様な病態—
- ・ 片頭痛病態解明への羅針盤
- ・ 脳神経と肝臓のクロストーク
- ・ 災害のとき、あなたは神経内科医としてどうする？
- ・ 学会プレジデントに聞く—今からでも遅くない、そして臨床経験を積んだ今からこそ、基礎研究をやってみよう

5月24日(金) 13:45~15:45

- ・ パーキンソン病の疾患修飾療法の可能性
- ・ 各国の MG 治療の変化—新薬開発を含めて
- ・ 免疫性神経疾患患者の妊娠・出産・授乳—診療の最前線
- ・ GBS の最近の知見：病態と臨床
- ・ 脳におけるグリアの新たな考え方—神経疾患の全容解明を目指して
- ・ 製薬企業とのオープンイノベーションによる革新的な創薬研究
- ・ てんかんにおける緊急事態
- ・ 脳可視化研究の大海原を目指して

5月24日(金) 14:30~15:45

- ・ 緊急シンポジウム：神経内科専門医基本領域化に何が必要か—揺れる専門医制度と基本領域専門医の使命

5月25日(土) 08:00~10:00

- ・ ついに到来 脳神経内科リアルワールド遺伝子治療・再生医療
- ・ ポストトランレーショナルリサーチ期を迎えた運動ニューロン疾患
- ・ 遺伝性ニューロパチー診断と治療の最前線
- ・ 神経難病医療における神経内科医と患者／患者団体の連携
- ・ 神経リハビリテーションにおける神経可塑性とその誘導法
- ・ 補体からみた神経免疫疾患の病態解明と治療の最前線
- ・ Progressive multifocal leukoencephalopathy in the era of disease-modifying therapies
- ・ 女性医師の働き方の多様性を考えよう！
- ・ 脳神経内科学と ICD-11

5月25日(土) 15:00~17:00

- ・ 膜ラフトと神経疾患 (15:00~16:30)
- ・ 脳と心は利己的免疫システムに支配されるのか？

10. レクチャーマラソン

詳細はウェブサイトのプログラムダウンロードページ「教育プログラム」をご確認ください。

<https://www.neurology-jp.org/neuro2019/program/download.html>

11. 教育コース (事前登録制)

詳細はウェブサイトをご確認ください。

(http://www.neurology-jp.org/neuro2019/program/educational_course.html)

12. メディカルスタッフポスターセッション (5月24日(金)・25日(土))

13. 医学生・初期研修医セッション (5月25日(土))

14. 各種共催セミナー

15. 脳神経内科ウィーク (市民公開講座)

16. 日本神経学会主催セミナー (事前登録制)

- ・ 第16回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月22日(水) 9:50~11:50・25日(土) 14:00~17:00)
- ・ 第16回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月22日(水) 9:50~11:50・25日(土) 15:00~17:00)
- ・ 第13回専門医育成教育セミナー (5月22日(水) 9:50~15:20)
- ・ 第6回メディカルスタッフ教育セミナー (5月25日(土) 14:00~17:00)
- ・ 市民講座 (5月27日(日) 13:00~15:00 会場：グランフロント大阪 北館 B2F)

※プログラムの最新情報については、大会ウェブサイトをご確認ください。